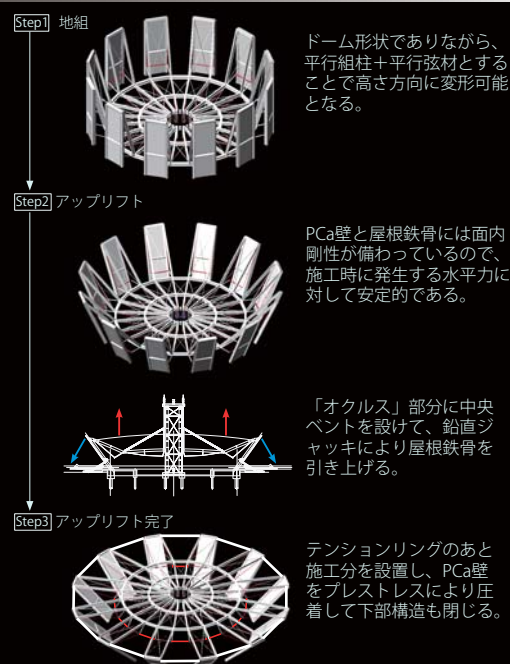


JSCA 賞【新人賞】 福島 孝志
羽田クロノゲート／

地域貢献エリア『和の里』施設群

<建物概要>
 建築名称 羽田クロノゲート/地域貢献エリア『和の里』施設群
 所在地 東京都大田区羽田旭町11-1
 建築主 ヤマトホールディングス株式会社/ヤマト運輸株式会社
 設計者 株式会社日建設
 施工者 鹿島建設株式会社
 建築規模 (代表として、ヤマトフォーラムについて記述)
 建築面積:約1800.00m² 階数:2階 建物高さ:13.5m
 主要構造 鉄筋コンクリート造、屋根:フープ式張弦梁構造

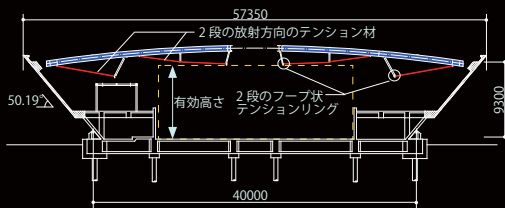
DEPARTMENT 1. YAMATO FORUM



フープ式張弦梁構造の採用

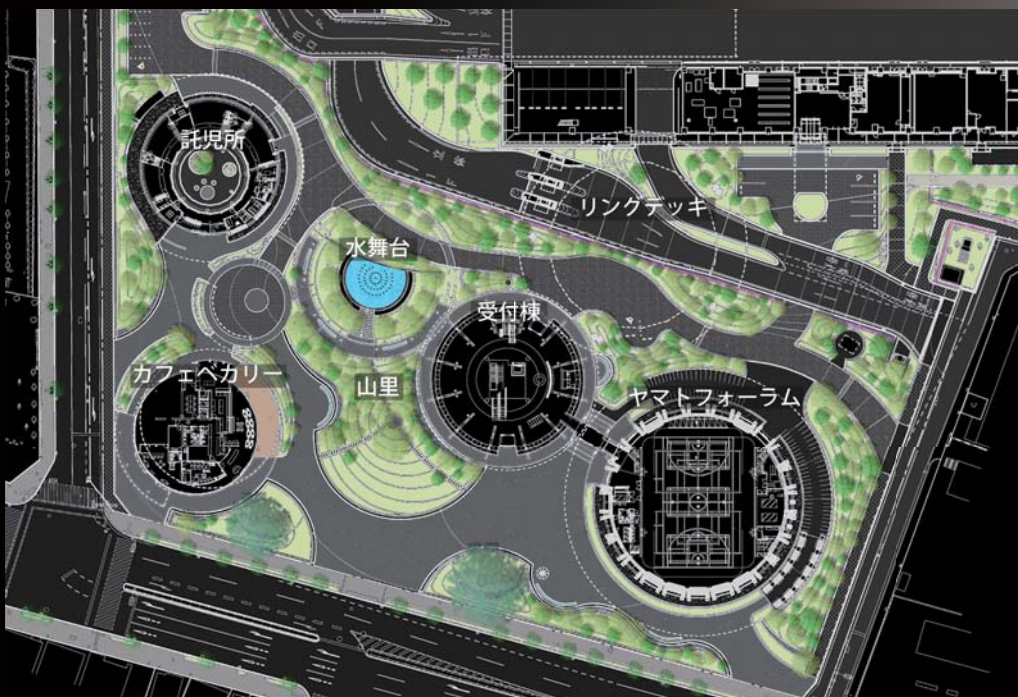
屋根鉄骨であるが、約60mのロングスパンに対する合理的解決策として、2段のフープ状テンションリングと放射方向のテンション材のハイブリッド・システムであるフープ式張弦梁構造を採用した理由は下記の2点。

- ・建物高さを抑えて圧迫感を軽減しつつ、競技のための有効高さが確保できる
- ・自旋式の特徴によりスラスト力が発生せず、下部構造に過度な負担が生じない



アップリフト構法の考案と実施

アップリフト構法は、プレキャストコンクリート壁(PCa壁)を倒すことで、折り畳んだフープ式張弦梁構造が引き上がるメカニズムを施工利用した構法設計である。フープ式張弦梁構造の内周部は地上に近いところで事前に組めるため、安全かつ精度の高い工事ができ、上棟後すぐに屋根工事と屋内工事を二段同時施工ができるので工程上も合理的と考え、設計図に施工要領図として図示した。



DEPARTMENT 2. RECIPROCIITY



和のデザイン

ここでの「和」の意味は、互いに相手を大切にし、協力し合う関係のこと。目指したのは地域との和、そして建物同士の和である。ヤマトフォーラムのPCa壁との調和を意図した託児所、それらと対比的に全面ガラス貼りとした受付棟は、この棟に最初に来訪してもらいたい意図を強調した。そしてリングデッキには、すべての建物を眺望できるしきみを設けた。個々の建物の最適化やつくり込みに留まるものではなく、それらが集まることで生まれる和の里の名にふさわしい<レシプロカル>な空間を創り出した。

